

平河町通信

令和4年
8月1日号
第5号

発行
内外政治
研究 G

防衛白書

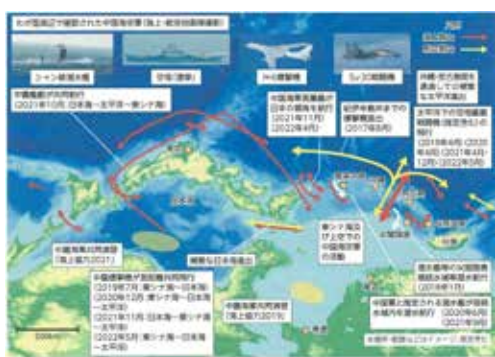
懸念される中露軍事連携の深化

岸防衛相

「選択と行動」促す

政府は22日、「令和4年版防衛白書」を閣議了承しました。岸信夫防衛相は「刊行に寄せて」の中で、「世界の平和と安全は灰色の厚い雲に覆われている」とし、「明日の国際秩序を形作るのは、今日の私たちの選択と行動である」と強調しています。

今年の白書は「ロシアによるウクライナ侵略」という新しい「章」を設け、「極東・東アジアにおける連携を含め、さらなる中露



最近の中国軍の主な活動(転載:防衛白書)

軍事連携の深化の可能性について懸念を持って注視していく必要がある」となどと警鐘を鳴らしています。

中国の軍事力分析では、2019年から人民解放軍が掲げるAI(人工知能)を駆使した「智能化戦争」についても言及。この作戦は、陸・海・空、宇宙、電磁、サイバーに加え、人間の脳を制御する意味の「認知」の領域も対象としています。

台湾で中国軍の「認知戦」が既に進行

これに関し白書は、台湾政府の国防報告書(2021年11月公表)が、SNSなどを通じた心理戦、世論戦、法律戦などの三戦のほか、偽情報散布によって一般市民の心理を操作・攪乱して社会混乱を生み出そうとする(中国による)「認知戦」に懸念を示しているところを取り上げ、台湾側は

既にこの作戦が顕在化・進行中であると捉えていると記述しています。

我が国周辺海域での中国軍の動向については、日本列島を周回するロシア軍との共同演習や爆撃機による長距離飛行行動など、示威行動について、「常態化を通じて活動へ



の警戒感を低減させることを企図しているとの見方がある」とし、実戦的な統合作戦遂行能力の向上の動きが見られると警告しています。

こうした動きについては、自衛隊の「南西シフト」に対する陽動作戦だとの味方も出ています。



*白書は22日の発売に先んじて防衛省HPで公開されています。「平成四年版防衛白書」で検索するか、当紙面のQRコードで読み込んでください。

9月27日に武道館で「国葬儀」 世界各国と台湾などに通知 外務省

安倍晋三元首相の「国葬儀」が9月27日に日本武道館で行われます。政府は7月末に内閣府や外務省、警察庁など関係省庁幹部の葬儀実行幹事会を開くなど準備を始めています。

既に外務省は既に国交がある195カ国のほか、台湾や香港などの4地域、国連などの国際機関に対して、大使館などを通じて国葬の通知を出しています。原則1国3人枠で出席を受けますが、ロシア

アについては制裁措置としてプーチン大統領などのビザ発給が停止されています。

法的根拠について政府は内閣法制局に諮った上で、「内閣設置法」第4条の「国の儀式並びに内閣の行う儀式及び行事に関する事務に適用すること」の規定を適用し、閣議決定しました。

国葬をめぐるのは、自治体や学校に反対の脅迫文を送りつける事件が起きています。これには、一

埼玉県議会が拙速にLGBT条例可決

埼玉県議会の自民党会派が提出した「性の多様性を尊重した社会づくり条例」はさる7月7日に本会議で賛成多数で可決されました。採決では「無所属県民会議」が反対し、自民会派の9人も、条例にある「性自認」や「差別的取扱い」の基準が明確でないなど議論が尽くされていないとして退席しました。

*1日発売の月刊「正論」は、「安倍氏も嘆いた埼玉LGBT条例」と題する記事を掲載、条例の問題点を詳細に記しています。



CNN
追悼
写真集



チャンネル正論
「アベガー」
無罪の影響